

(一社)九州地域づくり協会では、令和6年2月21日(水)、第10回地域づくり政策セミナー「自立できる地域づくり～地域の魅力を発見・発信そしてつなぐ～」を開催しました。昨年7月閣議決定の国土形成計画(全国計画)の趣旨を受け、九州地域の活力を醸成する取組について、各方面の有識者等の知見と次代を担う学生の期待感について熱心な議論がなされました。

当日は、会場参加(64名)とZoomウェビナーによるWeb参加(70名)を合わせて134名の方々にご参加いただきました。

主催挨拶



(一社)九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎

来賓挨拶



九州地方整備局
副局長 寺本 耕一 氏

基調講演



九州地方整備局 企画部
九州圏広域地方計画推進室
事業調整官 佐伯 康夫 氏

国土形成計画について

これまでの国主体のハード整備から、今後は地方主体での地域づくり(人づくり)や地域力が不可欠となる。



九州工業大学 工学研究院
教授 吉武 哲信 氏

これからの地域づくりに必要なコト

みんなで地域密着の活動をするのが国土の保全・管理につながり、その成果が持続的に地域に還元されることが重要となる。

事例発表 ～地域が自立するための魅力発見の取組～



九州産業大学
地域共創学部
教授 大方 優子 氏

地域のファンづくり ～聖地巡礼を広める～

アニメ聖地巡礼など、外から地域の魅力を発見することがコンテンツツーリズムとなり、地域振興の手段となる。



STORY DESIGN(株)
代表取締役
高山 美佳 氏

『土木遺産な旅のススメ』 に託した思い

先人の知恵を地域力に活かす『土木遺産な旅のススメ』では、ストーリー、物語を合わせることによって地域の見え方が違ってくる。



西日本高速道路(株)九州支社
地域共創担当部長
濱野 昌志 氏

インフラを多面的に地域づくりにつなげる ～高速道路のウチとソト～

インフラのハード整備だけではなく、コンテンツ開発において機能面と情緒面を分解し、多面的な観察により交流人口の増加、地域ビジネスを創り出す。



九州旅客鉄道(株) 営業部
営業課(観光・D&S)
副課長 実藤 裕久 氏

地域の魅力発見は駅から ～JRウォーキングから広がる魅力発見～

各駅長が地元の方々と一緒に作りあげる「JR九州ウォーキング」では、自治体や地域の方々の協力により魅力的なコースをつくり、駅を中心とした賑わいづくりを行っている。

パネルディスカッション ～地域の魅力を発見・発信そしてつなぐ～

パネルディスカッションでは、コーディネーターに（公財）九州経済調査協会の岡野氏を迎え、パネリストには事例発表登壇者の大方氏、高山氏、濱野氏、実藤氏に加え、新たに九州産業大学生のしめ野未来氏と松元汰樹氏にご参加いただくとともに、吉武教授にコメンテーターを務めていただきました。

コーディネーター



公益財団法人九州経済調査協会
常務理事兼事業開発部長
岡野 秀之 氏

学生パネリスト



九州産業大学
地域共創学部 2年
しめ野 未来 氏



九州産業大学
地域共創学部 2年
松元 汰樹 氏

しめ野氏の事例発表

過疎化が進む地域では、若者世代の人材不足が問題となっている。大分県佐伯市で立ち上げた「まち歩きマップ作成プロジェクト」では、取り組みやすい「まち歩き」を外部の若者の視点によって導入することで、地域を盛り上げ、新しい魅力の発見につなげている。

松元氏の事例発表

出身地の鹿児島県の種子島では、交通手段が少ないことで周遊、観光がしづらい状況がある。川端通り商店街における「まち歩き」の取組により、じっくりまわることが大切だと感じ、自転車による観光を提案している。

地域の魅力を発見するポイント

- ・あらゆる地域資源の中から、新しいコンテンツが思い入れやこだわりを持った消費スタイルである高関与消費の対象となる。
- ・外部の人々による新しい視点での旅から、地域が見えてくる。外部の人を取り入れる工夫が必要。
- ・Webで地域の情報を探すことはできるが、対面で地域の人々と交流するコミュニケーションの場をつくるのが大切。
- ・多様化している人の価値観や暮らしの中で、観光スタイルや意識の変化をチャンスととらえ、情緒的価値(精神的な付加価値)をみることが重要。



今後の地域力の醸成に必要なこと

- ・若者世代が地元や観光地に関心を持ち、地方へ出向く仕組みを作ることは大事。
- ・地域に関心や愛着を持ってもらうこと。このためには多様な方々とコミュニケーションをとることが必要。
- ・推し活など「好き」を接点としたコンテンツツーリズムによる、内外の人と人が繋がる拠点づくり。
- ・インフラや国土の物語をつくり、広めていくことで地域の魅力に気付いてもらう。
- ・地元の方や企業も参加することが、インフラづくりに伴う地域づくりにつながる。
- ・共創パートナーと地域づくりをすることが、賑わいや経済の発展にもつながる。

パネリストの皆さん



地域力を高めていくためには、各地域で行っている個人や企業の活動を、資金面だけでなくノウハウや精神的な面でもサポートし、安心して活動できるシステムづくりが不可欠。
今後の地域づくりには内外との人づくりや心のつながりが重要！